

課題名	44. チャノキイロアザミウマ成虫の寄主選択性について			
成果の要約	チャノキイロアザミウマ成虫は寄主選択性が異なり、イヌマキ新梢1に対してカンキツ新梢0.3、カンキツ果実は0.1、ジマンダイセン水和剤付着カンキツ果実0.02の順に選択する。			
成績	チャノキイロアザミウマ成虫の寄主選択性 ( ) 内イヌマキ新梢に対する割合			
	寄 生 成 虫 数 ( / 20 個 体 )			
	調 査 年 次 調 査 地 点 数	イヌマキ新梢	カンキツ新梢	カンキツ果実 (マンゼブ付着)
	1986, 87	21 ( 1.0 )	35.4 ( 0.31 )	11.7
績	1986, 87	17 ( 1.0 )	134.6	14.4 ( 0.10 )
概	1987	10 ( 1.0 )	104.8	1.8 ( 0.02 )
要	(長崎県果樹試験場)			
普及上の留意点	カンキツ果実への寄生は、カンキツやイヌマキの新梢の少ない時期に多くなるので、新梢、特に夏秋梢の多少に注意して、防除時期を決める。			